

看護学の様々な領域と薬理学との橋渡しを目指す

✚ 看護の視点が 薬物治療を変える

# 看護薬理学 カンファレンス 2018 in 東京

The Nursing Pharmacology  
Conference

開催

2018年10月20日(土) 10:20-17:00  
東京慈恵会医科大学 一号館

カンファレンス大会長

上園保仁 (国立がん研究センター研究所がん患者病態生理研究分野分野長)

受講対象

定員:100名(先着順)

看護職を主な対象としますが、看護職以外の方の受講も歓迎いたします。

参加費 3,000円

参加登録

参加申込:事前登録必須  
登録期日:10月12日(金)まで

※カンファレンスおよび懇親会に参加希望の薬理学会会員は関東部会HPよりお手続きをお願いします(参加費が異なります)。  
※薬理学会非会員の方は、事前にお申し込みの上、当日に受付にて参加費及び懇親会費をお支払いください。

[http://npc.ssrj.jp/guidance/place/tokyo\\_2018.html](http://npc.ssrj.jp/guidance/place/tokyo_2018.html)

# 看護薬理学カンファレンス 2018 in 東京



2018年10月20日(土)

東京慈恵会医科大学 一号館

## プログラム

開会式 10:20

■ シンポジウム1 10:30~12:00

麻酔管理下の患者の安全管理

〈赤瀬智子先生/野村岳志先生〉  
(横浜市立大学大学院教授)(東京女子医科大学教授)

- 1 『患者シミュレータを利用した臨床麻酔教育』  
野村岳志先生(東京女子医科大学集中治療科教授)
- 2 『周麻酔期看護師の役割と麻酔管理』  
赤瀬智子先生(横浜市立大学大学院  
周麻酔期看護学分野教授)
- 3 『麻酔管理下の皮膚損傷の予防』  
永野みどり先生(東京慈恵会医科大学看護学科教授)

総合討論

休憩 12:00~13:00

■ 看護薬理学教育セミナー1 14:40~15:40

『呼吸器疾患の薬理

ーステロイドと抗生剤は本当に

炎症性呼吸器疾患の治療のための最善策?ー』  
磯濱洋一郎先生(東京理科大学薬学部教授)

■ シンポジウム2 13:00~14:30

クリティカルケア領域の看護師に必要な

薬の知識 -PADガイドラインから-

〈卯野木健先生/櫻本秀明先生〉

(札幌市立大学教授)(茨城キリスト教大学准教授)

- 1 『PAD guideline総論/  
せん妄と睡眠のマネジメント』  
長谷川隆一先生(獨協医科大学埼玉医療センター  
集中治療科教授)
- 2 『痛みのマネジメント』  
櫻本秀明先生(茨城キリスト教大学  
看護学部看護学科 准教授)
- 3 『不穏のマネジメント(鎮静管理)』  
卯野木健先生(札幌市立大学  
看護学部成人看護学領域教授)

総合討論

■ 看護薬理学教育セミナー2 15:50~16:50

『がん患者さんのQOL向上に役立つ、さまざまな  
鎮痛薬および漢方薬の薬理作用に基づいた処方  
ー看護師の科学的視点(気づき)が緩和ケアの

レベルを上げるー』

上園保仁先生(国立がん研究センター研究所  
がん患者病態生理研究分野分野長)

看護薬理学教育セミナーを受講された方には「受講修了証」を発行致します。

閉会式 16:50

### 【参加登録】

参加申込:事前登録必須 登録期日:10月12日(金)まで  
◎期日までに、ホームページ内の登録フォームよりお申し込み  
ください。事務局からの返信があれば登録完了です。

[http://npc.ssrj.jp/regist\\_tokyo/](http://npc.ssrj.jp/regist_tokyo/)

### 【同時開催】

第139回日本薬理学会関東部会 | 東京慈恵会医科大学一号館

<http://pharmacology.pupu.jp/139kanto/index.html>



### お問い合わせ先

看護薬理学カンファレンス事務局

担当:宮崎大学医学部看護学科臨床薬理  
柳田俊彦 宛

[yanagita@med.miyazaki-u.ac.jp](mailto:yanagita@med.miyazaki-u.ac.jp)

※メールの件名には「看護薬理学カンファレンス2018  
in東京」とご記入ください。